



とつか

2022年1月会報 第327号

- 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea)
- 2021 主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
- スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
- ~ 主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を越えて変革しよう」
- スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
- 東日本区理事(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)
- 主 題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
- 2022 スローガン「絆を深める時」 “We are stronger together than we are alone.”
- 湘南・沖縄部部长(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
- 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」
- 主 題 クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓・書記 加藤利榮・会計 岡 進・メネット 吉原和子・担当主事 瀬戸俊孝



会長ひと言 ☆今こそ' 明るく 楽しく 元気よく ' ...☆

若木 一美



新年おめでとうございます

今から3年前の2019年々末から、中国方面で流行病が発生している...と様々な報道がなされ、翌2020年1月、日本国内でも確認され2月には横浜港・大黒埠頭から社会を一変することになりました。私たちワイズの活動・会合も対面型からオンライン方式に移行され、現在もそのほとんどがオンラインで行われています。

遠出をしなくても自宅から気軽に参加できることから以前にも増して会議・会合が増えているような思いがしますが、皆様はいかがお感じになりますか...? 私たちの横浜とつかクラブは、お互いのお顔を見ながらの活動を...ということこそうしたお声が多いことから、月々の例会は対面方式とさせていただきます。これからいつまでこの状況が続くのか、また国の費用負担でいつまでワクチンを接種し続けるのか...? 皆様からのお考えなど頂きながら活動してまいりたいと思いますので、ご意見をお持ちの方はどうぞお寄せください。

...という次第で、今年も制約されたなかで過ごすことになりそうですが、皆さまお一人おひとりが明るく・楽しく・元気よく、様々な活動を通してこの1年を共に過ごしましょう!

◎今月の聖句◎

「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れねばならない。」

—ルカによる福音書第5章38節—

あらたまの年を迎えました。YMCAのカレンダーも新しくなりました。何となく気持ちも変わったような気がします。そして、この御言葉、新しいぶどう酒を古い革袋に入れると、発酵して袋が裂け、新しいぶどう酒が無駄になってしまうのだそうです。折角、1年の計を立てても、肝心の私たちの心が新しくならなければ、また今までの繰り返しになってしまい、空しい1年になってしまうことでしょう...。最近よく耳にすることは' 安心' ' 安全' そして' 平和' の文字を思い出しながら、決意新たになりに新しいぶどう酒を注ぎたいものです...

強調月間 EF・JEF・Week 4 You

ここでは、耳慣れたEF・JEFはさておき、大久保理事肝煎りのWeek 4 Youについて、理事のお言葉を載せます。「(この月間テーマは) プロジェクトを考える週間ということで、昨年から始まったWeek 4Wasteという時期に当たります。各クラブや部・区がこの時期に新しい取り組みの検討を始めるための1か月としていただきたいと考えています。」と。

会員数	12月の会合		出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ ン	11	メ ン	9	他	(円)		(g)		(円)	(円)		(円)
メネット	8	メネット	1	前月迄		0		0		0		0
		ゲストら	4	当 月		0		0		0		0
計	19	合 計	14	累 計		0		0		0		0

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

会長報告

日時：2021年12月4日(土)18:30～20:00
会場：湘南とつかYMCAホール・司会：加藤
出席者：浦出・岡・加藤・柴原・鈴木・瀬戸・土方
吉原・同メネット・若木（以上10名）
〈ユース・リーダー関係〉

高井・上野・北川・田北の4名の皆さん

10月の総会以来の1階ホールでの第1例会、食事は出ませんでした。元気な若者たちを迎えての久しぶりの例会ムードに、時の経つのも忘れるほどでした。

例年ならば、報告者の青年たちと会食をしながら懇親を深めるところですが、COVID-19の影響で、今年も実現しませんでした。

定刻18時30分開会、儀式の後早速にリーダー報告に入りました。

10月24日、リーダーたちが取り組むSDGsの報告です。小田原市成田、江戸末期の篤農家二宮尊徳(通称・金次郎)ゆかりの地周辺でソーラーシェアリングに取り組む小山田大和さんを訪ねました。まずはソーラー発電施設から供給される電力で営業する「農家カフェ SIESTA」で小田原野菜

☆ 第1例会報告 ☆

若木 一美

を使った昼食をとり、小山田さんから取組みの概要を伺い、「行動することが大切」を胸に、発電所へと向かいました。地上2メートルで太陽光発電、地上ではコメ作り、出来たおコメは老舗酒造でお酒になります。耕作放棄地を再生し電力にする取組みを学習しました。自分たちでは気づきにくい部分をワイズの人たちが質問され勉強になったと語られました(写真:4頁・右下)。おじさん・青年たちとの接点が...!

次に東日本区ユースボランティアフォーラムについて参加の田北職員から、オンラインながら充実した研修だったと報告があり、当面の日程その他を確認し、定刻に終了しました。



☆第92回YMCA-Y's協議会から☆ 若木 一美

標記の協議会が12月7日(火)・関内中央YMCA・606号室において、オンラインと対面を併用して開催されました。担当の鎌倉クラブ池田会長と三上担当主事はオンラインによる参加となり、画面を見ながらの進行でした。

初めに、佐竹総主事と若木部長によるあいさつがあつて、協議に移り、部長から、恒例のYMCA-Y's合同新年会は、COVID-19感染予防のため中止することが過日開かれた部評議会で中止の承認を得ているため中止とすることが報告された。

引き続き報告事項に移り、以下の事項が報告された。

- ① インターナショナル・チャリティーラン：瀬戸主事
11月6日から20日までの間、オンラインによるウォーク事業として開催され、69団体・19個人参加により、無事終了した。来年こそは、秋空の下、明るく・楽しく元気よく開催されることを願っている...と結ばれた。
- ② クリスマス礼拝への参加について：阿部主事
横浜YMCAクリスマス礼拝が今年ももみじ坂教会において60名までの会場参加とオンラインにより開かれる。
- ③ 国際・地域協力募金の状況について：安部主事
コロナ禍の中、国際・地域協力募金も各YMCAでは工夫を凝らして活動が行われていることが報告された。
- ④ 東日本ユースボランティア・リーダーズフォーラム:三上主事
横浜YMCAが担当で2日間にわたりオンラインで開催され、参加者からの感想や動画も紹介された。
各クラブからは、コロナ制約の中で実情に合わせた例会が開催されていることが報告され、次回3月1日・とつかクラブの担当を確認し、閉会した。

-以上-

☆ オキナワに思いを馳せて ☆ 若木 一美

12月15日(水)午後6時、JR戸塚駅東口の' とある場所に加藤・久保・浦出・菅沼と私の5名が集いました(予定した佐藤さん・厚木ーは都合でご欠席)。目的は沖縄YMCAを支援するクラブの再結成(発足)が可能か否か? 結論的には、過日の部評議会で話題のグローバルクラブも視野に、引き続き検討していくことが確認されました。

まずは南東部時代からお付き合いの深いいわば旧友のお名前とか、現時点でのお互い知る限りの情報を出し合い、方策を探りました。その結果、出し得た結論は、加藤御大が現地の7~8名の意思・意見を確認することとし、その結果や状況を見ながら' 沖縄訪問' ~2月にこだわることなく~を行う、相手のお考えも尊重し、現実味のある状況を見ながら、一歩ずつ話を進めることで一致しました。

顧みるに、2002年6月、小原武夫理事の第5回東日本区大会にまつわるお話しや、40回近く現地を訪れているカトウさんからの心遣いのこもったお話し、区の' 沖縄担当' として、また、まだ「つい立て」で出発・到着ロビーを仕切っていた頃的那覇空港を幾度となく利用した菅沼さんのお話し、ノースクラブの会員で南東部長としてリーダーシップを発揮されておられた久保さんからの沖縄への思い、沖縄クラブ設立のころの思い出を話された浦出さん、予定した2時間がアツという間に過ぎてしまいました。

会談終了後、私たちは、理屈抜きに、人との出会い、人の輪を拡げることで活動が支えられることに思いを致し、会場を後にしました。



【新春随想】

☆ 今年もよろしく... ☆



横浜 YMCA 総主事 佐竹 博

横浜とつかクラブの皆様、いつもご支援いただきありがとうございます。貴クラブブリテンにて感じましたこと、3つほど書かせていただきます。随想、筆の（キーボードを押す指の）赴くままの拙文、お許してください。

第325号、川津さん退会の記事。昨年、別の記事でも書かせていただきましたが、初めてお会いしたのが、第1回（今年度は第24回）チャリティラン実行委員会でした。お帽子の写真を拝見し、懐かしく思い出します。当時私は30歳、村田屋に集まり、協賛・チームエントリー・物品寄付を募るタスクをどうやって達成するかを、あれやろう、ここ行こう、...と打ち合わせをしたのは懐かしい思い出です。今につながる貴重な経験をしました。川津さんのご健康が守られますよう祈ります。

第326号、浅見さんの追悼記事。私が日本YMCA同盟に出向している3年間、東日本区連絡主事として、お付き合いをさせていただきました。闊達なおふるまいの根底に、おもてなしの心と、相手を思いやるお気持ちを持っておられることを何度か席をご一緒させていただく中で知りました。いかにも熱鬧で酒肴を楽しむように、徳利の中味はお湯、手酌で刺身を肴に（うまそうに）呑む、などどんな場面でもホスピタリティにあふれるお姿から多くを学ばせていただきました。

3つめは、加藤さんからの封書に貼られた切手。1966年発行の「かつお」（10円）、余白部分には「大蔵省印刷局製造」とあります。私の生まれる前の発売。私より長く生きて、今もその価値を保ち、社会で信用され、そのままの価値を発揮していることに感動を覚えました。私もそのような生き方をしたいと思いました。

総主事としてもうちょっと書くべきことがあったかな...? と思いつつ、今年もよろしくお願ひいたします。

今年も皆様にとって、良い年となりますようお祈りいたします。

（佐竹様 お忙しい中、滋味溢れるご寄稿を賜りありがとうございました。）

レザン通信

☆ 小田原散策の一日 ☆



横浜 YMCA ワークサポートセンター 相馬 良文

ワークサポートセンターレザンでは、11月22日(月)「小田原散策」を行いました。小田原城に新たにできたNINJA館(旧・歴史見聞館)では、戦国時代に活躍していた「風魔忍者」について体験型の展示があり、

つい夢中になってしまいました。

足湯に浸かり温泉気分を味わい、おみやげを探しました。工芸品や名産品を選ぶかと思いきや「おみやげ」と「自分の今欲しいモノ」の違いが理解できず、コンビニで買い物を楽しむ方もいました。大満足の日になり、電車ではウトウトするカワイらしさも見られました。



【会員随想】

☆YMCA 日本語学校に関わって☆

岡 進



横浜 YMCA に日本語学校というのがある。フィリピン、韓国、中国、台湾、ベトナムなど様々な国からの留学生が学んでいる。残念ながら現在はコロナ禍で外国からの新入生の受入れは停まっているが...

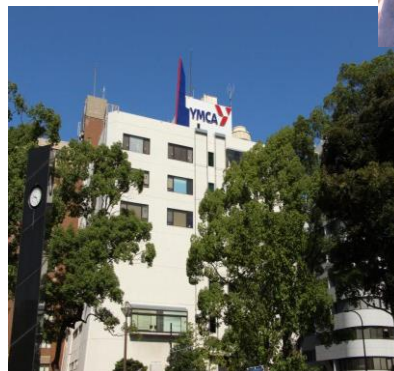
この学校にサポーターというボランティア制度があり、私も名を連ねている。授業での日本語学習だけでなく、日本の文化や習慣、社会事情等に触れてもらうことにより、より実践的な日本語を学ぶことを手助けするもの、例えば授業に参加してコメントしたり、グループ討議に参加したり、各種行事に学生と一緒に参加したりする。

中でもチュータ活動というのが大きな柱。これは1対1で学生と週1ペースで1時間強、日本語で話をするもの。元は学校内での対面式であったが、今はオンライン形式。話題は自由で、今の社会情勢、観光、歴史・文化、教育、日常生活・習慣、家庭などにつき、日本でのこと、先方の国のこと、両者の違い等々。こちらも今まで知らなかった相手のお国柄を学べて刺激があるし、振り返って日本についても再発見する。

ただし気を付けないといけないこともある。日本、母国、それぞれの社会、政府に対してどう感じているかなどは微妙な側面もあり単純ではない。例えば国の制度に対して批判的なところがあっても、当然ながら国そのものや社会、人に対しては愛着があるわけで、そのあたりはしっかり付度すべきだろう。

基本、相手の国のことをちゃんととは分かっていないわけだから、知ったようなことは言わない方がよい。むしろ、こちらが謙虚に学ぶぐらいの姿勢がよいと思っている。しかし、外国人にしる日本人にしる、若い人たちと話をするのは楽しいもので、脳の活性化にもなる。

感謝しなければ...



担当主事 瀬戸 俊孝



第24回横浜 YMCA インターナショナル・チャリティーランが、今年も2021年11月6日～20日の期間でオンライン方式により実施されました。一昨年から新型コロナの影響でオンライン大会として、安全に配慮して開催しています。

今までは、1日のイベントで多くの参加者、ボランティアが一堂に会して開催していましたが、今回はオンライン大会の2年目ということで、外部業者に委託して特設ページを作成しました。中でも、大きな変更はランニングではなくウォークで参加できるよう方式を変えたことで、コロナ禍の厳しい状況の中、チーム・個人のエントリー約370名、総額374万円の募金が集まりました。期間中は、特設サイトで歩数を競い合い、写真にもあるように、「離れていてもつながっている」を目標に皆で丸となって楽しみながら歩くことができました。

ワイズの皆さんには、共催という形でチームのスポンサーを始め応援動画の作成、また大会終了後には期間中にアップされた写真からクラブごとに写真を選んでいただき、クラブごとのワイズ賞として表彰させていただきました。厳しい環境の中でも、協力されたワイズの皆さんや賛助会をはじめとする企業の皆さんには改めて感謝申し上げます。

集まった募金は、YMCAで行われる障がいのある子どもたちのプログラムの実施に際しての補助に使わせていただきます。



(写真説明)

YMCA とつか保育園の園児です。スポンサーのとつかクラブでは、何枚かの写真の中からこの1枚を選ばせてもらいました...

☆ 今月の歳時記から ☆

‘書初 かきぞめ’ と ‘かまくら’

‘書初’は、新年になって初めて書や絵を書くこと。主としてめでたい詩句を選び、ふつうは正月二日に行う。筆始(ふではじめ)、吉書(きっしょ)ともいう。

一月二日、各地で書初大会が開かれる。

わんぱくや先ず掌に筆をはじめ	一 茶
書初や紙の木旗の日のしるし	子 規
書初や老妻酒をあたゝめたり	鬼 城

次に‘かまくら’。この行事は、正月一五日の夜、秋田県横手市付近で行われている雪で作った正月小屋のことで、雪小屋にわらやむしろを敷き、屋正面に水上様の神棚を祀り、ろうそくに灯をともし、供物をそなえ、甘酒を温めたりして、子どもたちが夜更けまで飲食する。

かまくらに坐して幼き思ひあり	花 楠
かまくらの童女こけしの眉をもつ	花 楠
かまくらのもらす灯のうち人の過ぐ	器



☆1月・2月の集まり等について☆ 会長

- ◎ 12月30日(木)～1月3日(月)・横浜 YMCA 全館休館
- ◎ 1月18日(火)・第2例会 (当面の重要事項につき協議)
- ◎ 2月11日(祝・金)・YMCA ピースフォーラム(オンライン)
ご案内は、瀬戸担当主事から その都度お知らせします。
(☎ 045-864-4768)

Happy Birthday
～1月の該当者ナシ～

☆ 功刀功先生著「良い眠りが認知症を予防する」から ☆
加藤 利榮

1) 統合失調症と5大疾患

統合失調症というコトバは、かつて精神分裂病(症)と呼ばれていたが、第12回世界精神医学会(2002年-平14・横浜)に併せて開かれた第100回日本精神神経学会において、治療の進歩等によりこの日本語は不適切...ということから統合失調症という呼び名に改められました。

一方、1996年-平8-、厚生省(現・厚労省)はそれまで成人病と呼んでいた脳卒中・癌・急性心筋梗塞・糖尿病の4大疾患を生活習慣病と称していましたが、2011年-平23-に至り、職場でのうつ病や高齢化に伴う認知症の増加に鑑み、これらうつ病や認知症を精神疾患とし、それまでの4大疾患から5大疾患とする方針・呼び名に改められ、現在に至っています。

功刀先生からのご提言：－

5大疾患を生活習慣病と考える上で、これらの疾患の原因を自己責任と捉えるおそれもあります。体質からの要素もあるので、疾患への用心と共に病んでいる方への思いやりも欠かせません。－以下次号－



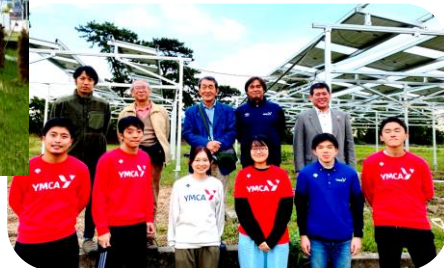
～ソーラー発電施設～

☆リーダーらによるSDGs活動

報告会から☆

－(記事:2頁上段)－

～参加のリーダーたちと～



《後記》

明けまして...、新型コロナの収束を願って..。

本年は ワイズにとり どんな年に..。

そうです...、今年はずいぶん **Change! 2022~**

(T/K)